

令和5年度

盛岡公務員法律専門学校

自己点検・評価委員会結果報告書

令和6年5月

令和5年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡公務員法律専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

令和6年5月

学校法人龍澤学館
理事長 龍澤 尚孝

1. 学校の教育目標

本校は、地域社会の発展に貢献するため、進展を続ける社会情勢に即応できる人材・社会で活躍できる人材の育成を行うことを目的としています。そのため、単に公務員試験や就職試験における筆記（一次）試験突破のための知識を詰め込むのではなく、多くの経験を積むことで豊かな人間性を育み、自ら「気づき」「考え」「行動する」力を養う教育に努めています。（募集要項掲載文より）

2. 令和5年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画（事業計画より抜粋）

- ・さまざまな社会の変化に対応できる力を身に付けさせるため、学生たちに不足している「経験値」を増やし、「気づき、考えて、行動できる力」を高めていくよう、インターンシップや実践的な授業を取り入れた指導のさらなる充実を図る。（教育活動）
- ・近年、全体的な基礎学力の低下と学力差の広がりが顕著なため、基礎学力強化を目指しながら「一人ひとりに対しわかるまで教える」きめ細かな指導を強化していく。（教育活動）
- ・高校生向けの公務員試験対策講座や公務員模擬試験、進路相談・ガイダンス等で本校が持つ情報や指導力を地域に還元していく。（学生募集・社会貢献）

3 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

※適切：4、ほぼ適切3、やや不適切：2、不適切：1

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校におけるキャリア教育・職業教育の特色を教職員が共有しているか	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
評価理由・善点	<p>本校は、専門教育を通して地域・社会の発展に寄与する人材を育成することを目的に、社会で必要とされる能力、技術、知識を養成すること、公務員あるいは公共性の高い仕事に携わる人間としての自覚を持ち、建設的な考え方をもちた人間性豊かな社会人の育成を目指している。近年進んでいる少子化や若者の首都圏流出が激しい状況において、優秀な人材を地元で育成し、地域の未来を担う人材として地元に残って活躍してもらうことも、我々の大切な役割である。このことは、学校案内や募集要項に掲載して広く周知するとともに、学生に対しても、日々の生活の中でも繰り返し伝え、心の教育を行うよう努めている。</p> <p>学生だけでなく、保護者等にも本校の活動や活躍が伝わるように今後取り組んでいく。</p>	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
評価理由・改善点	年度ごとに、施設環境・教育内容・学生募集・教員研修・地域社会との関連・その他の項目について事業計画を策定し、法人本部と学校が連携しながら運営している。 職員同士の情報共有、職員と学生の教材、資料共有の部分でシステム化を進めることで業務の効率化を図りたい。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6	関連分野における実践的な職業教育（産学官連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4

10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
評価理由・改善点	<p>教育理念に沿った教育課程の編成を行っており、教職員間での共有、必要に応じ協議も行っている。教養試験、専門試験の科目の内容は刻々と変化しているため、傾向を捉えながらカリキュラムを編成している。</p> <p>社会の変化やニーズに合わせて、地域課題研究を含めた実践的な授業の中で、より社会と繋がりを持ち、公務員をはじめとした働く人の話を聞き考える機会を増やしていく。</p> <p>授業の中に、公務員や民間企業を含め外部講師として参加いただける方を増やし、学生がより社会のことを学べる場を増やしていく。</p>	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
評価理由・改善点	<p>就職率は毎年高水準で推移している。また就職率の向上はもちろん、学生が第一希望と考えている企業、自治体へ合格、内定できるよう指導していく。</p> <p>卒業生の勤務先から卒業生の評判を聞くことがあり、良い点はさらに伸ばせるように指導を進め、改善点があれば在校生の指導に取り入れるようにしている。しかし、活躍を把握しきれていない卒業生もいるので、把握に努めたい。</p>	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
評価理由・ 改善点	クラス担任による指導により、学生個々の特性に応じた支援ができています。今後は、公務員だけでなく、民間就職を目指す学生に向けて学校と関わりがある企業を増やしていく。また卒業生に対しては、進路相談や面接指導等、卒業後も可能な限りいつでも受け入れている。卒業後も訪れやすい学校を目指していく。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4
評価理由・ 改善点	避難場所は従来通りの場所を確保、学生に周知し防災に対する意識を高め体制を整備している。ただ避難経路を確認するだけで終わることなく、避難エリアや避難ルートなど実際に使用することで防災意識を高めていく。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
評価理由・ 改善点	開校5年目からは安定して定員数を確保してきたが、近年は民間企業の求人数の増加、少子化の影響、などもあり入学者数は若干減少してきている。そのため、高校生に対して、仕事の魅力、公務員だからこそのやりがい等の情報発信に取り組んでいる。 今後は上記の活動だけでなく、より地域の方とつながる活動を行い、それが学校としての魅力となるように取り組んでいく。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
評価理由・ 改善点	法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報については、MCLグループのホームページで既に情報公開している。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
評価理由・ 改善点	法人本部の指導の下、個人情報保護も含めて法令遵守に努めている。 昨年度の自己点検項目については、現在、問題点の改善に努めている。今年度、新たな点検項目で挙げた問題点については、今後取り組んでいく。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
評価理由・ 改善点	我々ができる社会貢献として、地域のイベントへ参加したりボランティアスタッフとして協力することで、若い力で地域を盛り上げられるよう、教員も一体となって取り組んでいる。また、高校生に向けて、無料の公務員試験ガイダンスおよび公務員対策講座の実施を通じて、各地域の人材育成への貢献に努めている。	

4 総合的な自己評価結果と今後の目標

令和5年度重点目標については、一定の成果を上げることができた。学力向上に向けた指導はもちろんのこと、人間力の向上にも力を入れることで学修成果につながっていると感じる。本校が優秀な人材を輩出し続け、社会のニーズに応えていくためにも以下のことに力を入れて取り組んでいきたいと考える。

刻々と変化を続ける社会において社会で求められる人材も変化しており、それに対応できる教育の提供を行っていく。そのために学校の教育の質を向上していくことが必須であり、教職員の質（知識、指導力、人間性等）の更なる向上に努め、学生が第一希望としている企業、自治体に合格、内定できるよう指導していきたい。

また、学校から地域への情報の発信や、地域や企業・自治体等の外部組織から学校に対する意見・要望等を頂くことで、地域に開かれた存在として、未来の公務員・地域の担い手を地域の皆様と友に育てていける環境づくりに努めていきたい。

そのためにも、学生の声や保護者の声はもちろん、地域住民や企業・自治体等の声を今まで以上に取り入れる仕組みを整備していきたい。また、卒業生の活躍の状況についても詳しく把握することで、在校生に対する指導法や指導内容の充実にも活かしていきたい。

令和5年度

盛岡公務員法律専門学校

学校関係者評価委員会結果報告書

令和5年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館MC L盛岡公務員法律専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を9月11日に開催いたしました。以下に、その内容を報告いたします。

今後は、各委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 学校関係者評価委員

氏名	企業・団体名	部署・役職
小野 直人	株式会社北日本銀行	人事部長
金野 淳一	三陸鉄道株式会社	取締役運行本部長
藤原 勝義	一般社団法人岩手県木炭協会	総務課課長

《事務局》

氏名	企業・団体名	部署・役職
及川 源太	MC L盛岡公務員法律専門学校	校長
畠山 真司	MC L盛岡公務員法律専門学校	校長代理
玉山 雄也	MC L盛岡公務員法律専門学校	教務課長
井上 雄	MC L盛岡公務員法律専門学校	教務主任
佐々木 裕美	MC L盛岡公務員法律専門学校	

2. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 令和5年度学校関係者評価結果について
- (5) 意見交換
- (6) 閉会

2. 討議内容

本校の教育理念・目標について説明を行った後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価結果について、評価項目ごとに達成状況や取り組み状況、改善対策等について外部委員の皆様と意見交換した。

(1) 教育理念・目標について

地域社会の発展に貢献するため、変化を続ける社会において活躍できる人材の育成という教育理念・目標に沿って適切に運営がすすめられたことが報告された。この教育理念・目標については、学校案内や募集要項に記載するのみならず、学生に対しても、日々の生活の中で繰り返し伝え、心の教育を行うよう努めていることを確認した。

(2) 学校運営について

情報システム化等による業務の効率化について、グループウェアの導入により、教員間、教員と学生間などこれまで以上に連携がとりやすい環境にしていくことを確認した。

(3) 教育活動について

学校カリキュラムにおいて、公務員に向けた勉強はもちろんだが、社会人（公務員・民間企業で現在働いている人）を講師として、より実践的な授業の展開をしていくことの説明を行い、ご理解を頂いた。

(4) 学修成果について

卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているかについて、卒業生の就業状況調査活動などを実施できず課題となっている。卒業後の就業状況調査活動について、その手法など引き続き検討をしていく旨を説明した。

(5) 学生支援について

公務員を進路に考える場合の支援体制は万全である一方で、学生に紹介できる民間企業数の部分には課題が残った。MCL 専門学校グループの各校と連携を取りながら、学生が適性を見極めながら進路活動を行える環境を整備していくことの説明を行い、ご理解を頂いた。

(6) 教育環境について

現状では適正に整備できているが、社会の変化に伴って教育も変化していくことから、その変化に対応できる教育環境を整備していくことを確認した。

(7) 学生の受入れ募集について

学生の募集活動について、本校は公務員のみならず、公共性の高い企業への就職に有利な資格取得や知識習得に強みがあることなどを各高校へ周知し、本校について理解を深めていく活動を継続してほしい旨委員の方から要望を頂いた。引き続き学校の強みを発信していくことを確認した。

(8) 財務について

既に情報公開されていることや法人本部との連携について確認した。

(9) 法令等の遵守について

法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているかについて、法令、設置基準等の遵守と適正な運営を行い、自己評価の結果をもとに学校関係者評価委員会を開催し、その結果と合わせてホームページに公開していることを確認した。

(10) 社会貢献・地域貢献について

学生が地域のイベントへ参加したりボランティアスタッフとしてお手伝いしたりすることを通して、社会貢献、地域貢献をしている。そのような学校外での活動を通して学べることの重要性を学生に実感してもらっている。また、そのような学校外での学びは物事の本質を捉えることにつながり、社会人になってからも役立ってくることを意識させながら今後も続けていくことを確認した。

4 まとめ

社会状況が大きく変化している中において、外部委員の方々から、本校の取り組みについて高く評価いただくとともに、貴重なご意見を頂くことができた。今回の結果は、全教職員にフィードバックし、教育内容のさらなる充実、ひいては地域の発展に貢献できる人材の育成に努めていきたい。

今後とも、MCL盛岡公務員法律専門学校が地域から必要とされる学校となるため、地域貢献活動に積極的に取り組み、また優秀な人材を輩出し続けられるよう教育活動に邁進していきたい。